

ジェンダー平等、人種差別と排外主義との戦い、LGBTI 労働者

概要報告の目的：

- ジェンダー平等、LGBTI の問題に関する 2015 年の EB 以降の活動を EB-148 に報告する。
- 2016 年の行動案を EB-148 に報告する。

関連：

- ✓ PoA セクション 9、PSI 世界執行委員会 EB-147
- ✓ 2015 年 5 月 25～26 日開催の WOC 会議議事録

背景：2015 年の WOC 決議は、以下 4 つの分野に大別できる。

- グローバル・ガバナンスとジェンダー政策
- ジェンダー平等とジェンダー・メインストリーミングに関する PSI の政策
- 女性労働者の労働組合権と平等
- 国際労働組合および女性運動と PSI の協調行動

議論：

ジェンダー：

グローバル・ガバナンスとジェンダー政策： UNCSW60 の主な焦点は女性の経済的エンパワーメントである。PSI、ITUC、EI、ITF は例年通り共同のアプローチをとる。2016 年は、職場と社会において、女性の権利を擁護する存在としての労働組合の認識が高まることを望んでいる。それにあたり、主に 2 つのメッセージに注目する。

- 1 つは、女性が労働組合に加入する主な理由は、**ディーセントワークを求めて組織化と団体交渉を図ること**により、自らの社会的、経済的エンパワーメントの主導権を握ることである、という訴えである。世界では労働組合が女性 7 千万人を代表している。
- 組合は持続可能な開発目標すべてが**2030 年までに達成されるよう**取り組むうえで、主要な利害関係者であり、水や衛生、保健、教育といった不可欠なサービスが、女性に最も打撃を与える官民パートナーシップ、混合ファイナンス、貿易協定から除外されなければならない。**税の正義と進歩的な税制**のモデルは、ジェンダー平等の達成に必要な公共政策の確固たる代替基盤となる。

今年も、世界各地のさまざまな組合より約**180 名**が参加した。PSI はアフリカ、アジア、欧州、米州の加盟組合代表など、**20 名**の強固な代表団を結成する。WOC 委員長のユネシア・バティスタ氏はブラジル政府を代表する代表団の一員として、公式会議に参加する機会を労働組合運動に提供し、認知度と影響力の向上を図った。PSI と WILF、MADRE、AEDIDH、ITUC は、「アラブ人女性と平和を享受する人権」というイベントを開催した。このイベントは、アラブ諸国の労働組合および社会運動のリーダーが人権としての平和に対する見解を示す機会となった。平和と正義の推進は、持続可能な開発目標**16**の一部であるが、これは女性の代表と権利の平等の分野、中でも独立した労働組合および質の高い公共サービスの分野の目的が達成されてはじめて可能になる。

ジェンダー平等とジェンダー・メインストリーミングに関する PSI の政策： PSI で成長を続ける部門別の取り組みと、ジェンダー・メインストリーミングの目標は、ジェンダー平等を推進すること、女性機構に部門別のアプローチを取り入れることが、いかに難しいかを示唆している。米州地域を皮切りに、PSI では部門のジェンダー分析データを作成する（労働者、組合組織率、幹部職）。まず 3 月 8～22 日のキャンペーンで水とジェンダーのメインストリーミングを開始した。PSI は、国連人権高等弁務官事務所の特別報告者が作成する、飲料水を享受する権利に関するジェンダー平等と水報告に協力し、見解の根拠としてインド、ケニア、アルゼンチン、エクアドルの状況を挙げた。PSI はグローバルキャンペーンの中で、ジェンダー平等を志向する公共サービス（GRPS）の概念と税の正義を女性の人権としてさらに発展させていく必要がある。これを 2017 年 PSI 世界大会へのインプットとして、また優先テーマと行動計画のジェンダー的アプローチとして推進する。

女性労働者の労働組合権と平等：WOC が、女性労働者の権利と、職場における賃金の平等とジェンダー差別の解消を擁護するために ILO 監督メカニズムの活用推進を決定したが、これを受け、カナダ公務同盟（PSAC）が ILO 条約勧告適用委員会に、カナダにおける ILO 第 100 号および 111 号条約の実施に関する見解を提出した。2016 年は、ILO の正規スケジュールにもとづいて（9 月 1 日が期限）、主な対象国を選んで見解を提出する。2015 年、職場の暴力に関する新たな条約を 2018 年の国際労働総会（ILC）で議論することについて、ついに ILO 理事会の合意が得られた。これはジェンダーを理由とした暴力にも適用される。PSI はメンバーと協議の上、部門ごとのアプローチで新たな条約の内容について提案をまとめる。2019 年までの期間の重要なイベントとして、ILO 創立 100 周年がある。ILO は労働の未来について、一連の三者対話を開催する予定だ。対話では、ジェンダーの側面も取り上げ、女性の労働の未来についても注目する。PSI は、こうした議論に参加し、公共部門の女性労働者に光を当てる提案を行うために圧力を行使する必要がある。3 月 8 日の主なキャンペーンテーマは、ペイ・エクイティであり、ILO 条約 100 号の批准と導入を強化し、SDG と水を享受する人権にリンクさせることであった。

国際労働組合および女性運動と PSI の合同の取り組み：

- 平和への権利に関する国際監視機関（IOHRP）とスペイン国際人権法協会（SSIHLPE）は、平和を享受する人権に関する国連決議を強化させることを目的としている。
- DV@ネットワークは、職場におけるドメスティック・バイオレンスの影響について幅広いアプローチで取り組んでいる。
- アクションエイドは、GRPS のコンセプトをさらに展開し、PSI が進める質の高いユニバーサル公共サービスのアジェンダに統合している。

人種主義と排外主義：米州地域事務所の報告のとおり

LGBTI：アムステルダムで開かれるユーロプライド 2016 の機会に、FNV のピンク・ネットワークが、2016 年 8 月 4、5 日にユーロプライド労働組合会議を開催する。LGBTI 労働組合権を一步前進させる機会となる。PSI は、米州地域事務所の報告のとおり、このイベントに参加する予定である。

予算面：なし

次のステップ：

- 税におけるジェンダー・メインストリーミングのアプローチ。
- 税とジェンダーのグローバルセミナーを 2016 年 7 月にロンドンで開催。
- ILO 条約 100 号、111 号、156 号に関する組合の見解を、2016 年 9 月 1 日までに提出。

<p>EB-148 に対し以下を勧告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. UNCSW60 の組合のアプローチと今後の政府および社会運動団体とのフォローアップを支持する。 2. 部門ごとの取り組みとキャンペーンに対するジェンダー・メインストリーミングのアプローチを支持する。 3. 女性と労働に関する 100 周年記念プロセス、ならびに ILO 監督メカニズムの研修支援に PSI を全面的に統合するよう、ILO に要請する。 4. PSI の合同の取り組みを支持する。 5. PSI のユーロプライド 2016 参加を支持する。 	<p>はい / いいえ</p> <p>はい / いいえ</p> <p>はい / いいえ</p> <p>はい / いいえ</p> <p>はい / いいえ</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

関連文書：

- http://www.ilo.org/global/standards/applying-and-promoting-international-labour-standards/committee-of-experts-on-the-application-of-conventions-and-recommendations/WCMS_447698/lang-es/index.htm